



PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number: 09198191

(43)Date of publication of application: 31.07.1997

(51)Int.Cl.

G06F 3/033
B41J 29/42
B41J 29/46
G03G 21/00
G03G 21/00
H04N 1/00

(21)Application number: 08006379

(71)Applicant:

FUJI XEROX CO LTD

(22)Date of filing: 18.01.1996

(72)Inventor:

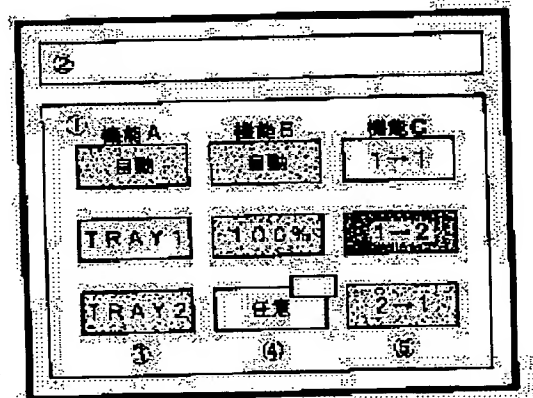
TAKADA KATSURA

(54) SCREEN DISPLAY ON USER INTERFACE PANEL

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To prevent the setting of an unnecessary function by previously displaying and giving information on a function which can not be selected when a user tries to select a function.

SOLUTION: On the display screen on a user interface panel, the selecting buttons (3) of a function A tray, function B scale factor selecting buttons (4) and function C both face function buttons (5) are displayed by displaying a selected button in white, a selecting possible button in a sketch, a selecting impossible button in a colored field and a combine-selection impossible button with a thick frame. Then when a both-sided tray is broken and the setting of a scale factor is automatically selected, the tray becomes a function which is not capable of selecting 'automatic' by combination to be displayed with the thick frame so that the user executes the selection of a tray excepting for 'automatic'.



BEST AVAILABLE COPY

特開平9-198191

(43)公開日 平成9年(1997)7月31日

(S1) Int. Cl. *	識別記号	序内整理番号	FI	技術表示箇所
G 06 F	3/03	360	G 06 F	360 C
B 41 J	11/41		B 41 J	F
	11/46			Z
G 03 G	1/00	376	G 03 G	376
		386		386
密着請求	未請求	請求項の数 3	OL	(全6頁) 最終頁に続く

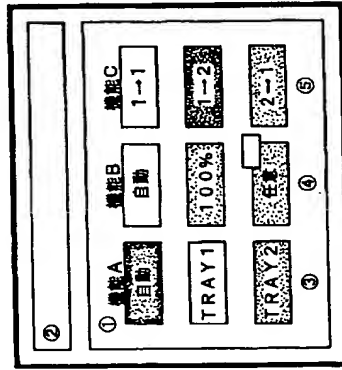
(21) 出願番号	特願平8-6378	(71) 出願人	000005498
(22) 出願日	平成3年(1991)1月18日	(72) 発明者	高田 桂
			東京都港区高坂二丁目17番33号
			富士ゼロックス株式会社
		(74) 代理人	弁理士 住吉 多雄男 (外1名)
			神奈川県海老名市本郷2274番地 富士ゼロックス株式会社内

(54) 【発明の名称】ユーザインタフェースパネルの画面表示装置

(57) 【要約】

【脚注】 ユーザが機能を選択しようとするとき、予め選択できない機能を表示して知らせることにより、パネル面の表示をみることににより不要な機能の設定を防止する。

【解決手段】 ユーザインターフェースパネルの表示画面には、機能Aとレイの選択ボタン④、機能Bと倍率選択ボタン⑤、機能Cと画面機能ボタン⑥が表示される。選択されているボタンは白地、選択できないボタンは点線地、選択できないボタンは紫色地、組合せて選択できないボタンは太枠付きで表示される。ここで、画面レイが変更しており、倍率指定を自動を選択したとき、トレイは「自動」が組合せにより選択できない機能となり、予め本枠付き表示になっているので、ユーザは「自動」以外のトレイを選択を実行する。



【特許請求の範囲】

【備考事項1】 画像形成における機能を選択手段と、選択された機能を画面表示する表示手段と、表示機能選択手段からの選択番号により、表示手段に画面表示番号を出力する画面の表示制御装置とを備え、

画面の表示手段は、選択されていることを示す特定表示手段と、選択可能なことを示す選択可能表示手段と、選択できないことを示す選択不能表示手段と、組合せし、画面表示の制御機構は、機能選択手から選択番号を入力したとき、選択された機能と組合せることの出来ない機能の表示手段に警告表示信号出力するユーザインタフェースを有する。

【請求項2】 各表示手段の画面表示は、表示形態を異ならせて表示する請求項1記載のユーザーインターフェースパネルの画面表示装置。

【備考3】 警告表示手段の画面表示は表示ランプを点滅させて表示する請求項1記載のユーザーインターフェースパネルの画面表示装置。

【発明の詳細な説明】

100011

【発明の属する技術分野】この発明は、複写機、ファクシミリ、プリンタ等の画像形成に係る機能設定等に用いられる、特にユーザインターフェースパネルの画面表示装置に関する。

100021

[illegible]

(1) ある機能が選択されている時、その機能と組み合わせさせて選択することのできない機能が選択されると選択ボタンは選択できないボタン（死にボタン）表示され、組合せにより選択できないことを示すメッセージや画面が表示される。

05

(2)

(2) 両立しない機能が選択された場合、先に選択されていた機能が取り消される。

(3) 両立しない機能を選択することができるが、スタート時に、組合せによりスタートできないことを示すメッセージが表示される。などの手段が、従来のユーザーインターフェースでは取られていた。

【0004】また、阿立しない機能が設定されると、阿立しないことを示すメッセージを表示して、誤操作であることをユーザに知らせるとともに、最終的な選択はユーザが決定する画像記憶装置のユーザインターフェースが特開平4-251871号公報に開示されている。

100051

【黎明が解決しようとする課題】しかし、上記(2)記載の手段は選択した機能がいつのまにか取り消される不都合があり、上記(3)記載の手段はスタートするまでユーザによって使い心地の悪いものであった。また、上記(1)記載の手段、および開示されているユーザインターフェースは共に互立しない機能が選択されたのに、ユーザに誤操作であることが通知されるため、あらかじめの設定することができない機能を選択してしまふ不都合を回避することができず、最初にした選択を取り消して、再度選択をし直さねばならないという問題があった。

【0006】そこで、この発明はユーザが機能を選択し、ようとうとすると、パネル画面の表示を中止することにより、予め選択できない機能を表示してユーザに知らせることにより、不要な選択を防止できるよう構成したユーザインターフェースパネルの画像表示装置を提供するものである。

【0007】

【課題を解決するための手段】本発明のユーザーインターフェースは、画像形成装置において、画面表示領域に所定の表示、警告可能手段と、機能選択手段と、選択された機能を識別する手段と、機能選択手段から選択した機能を選択する手段と、機能選択手段が出力すると共に、表示手段に画面表示番号を出力することにより、表示手段から選択信号が入力したとき、選択された機能を選択する手段と、選択された機能を選択手段に警告表示信号を出力することによって、機能の表示手段に警告表示信号を出力する構成を含む。

【0008】また、表示手段の各表示は表示色、色濃度、表示形状等の表示形態を異ならせる、あるいは警告表示においては表示ランプを点滅させて表示する構成を準備する。

【0009】この画面表示装置は、機能を設定しようと
したとき、選択できない表示、および警告表示が表示さ
れている機能は選択できないことが事前に判明している
ので、誤操作を回避する。

[0010]

【発明の実施の形態】次に図面を参照して本発明の実施

例を説明する。図1から図3は複写装置の所定の場所に配置されるユーザインターフェースパネル（コンソールパネル）の表示画面を示している。コンソールパネルの表示画面には、各機能を選択する機能選択画面①、ユーザに対するメッセージを表示させるためのメッセージ表示画面②、各機能選択ボタン群③～⑤より構成される。このうち、機能選択ボタン群③に関しては、この実施例では機能Aから機能Cまでとなっているが、表示される機能選択画面①の数はこの例にない。機能選択ボタン④は機能Aとして用紙トレイ選択機能、機能選択ボタン⑤は機能Bとして画面機能の選択ボタンを示している。⑥は機能Cとして画面機能の選択ボタンを示している。各機能中のボタンは、オルタネートボタンである。そして、下部には表示手段の意味を示す説明が記載されている。図3によると、選択されているボタンは白地、選択可能なボタンは点線地、選択できないボタンは着色地、組合せで選択できないボタンは太枠付きで表示されるように構成されている。

【0011】ここで、画面トレイが故障している場合を説明する。コンソールパネル機能選択画面①における各機能群③～⑤で、機能AではTRAY1ボタン、機能Bでは任意倍率ボタン、機能Cでは「1→1」ボタンが選択され、それぞれのボタンが点灯している（図面においては白地で表示）。この状態で、画面トレイが故障しているため、機能Cの周囲機能の「1→2」ボタンが選択できない着色表示、他の機能選択ボタンは組合せにより選択不可能なボタンは存在しない。よって、残りのボタンは機能Aにおいて自動ボタン、TRAY2ボタン、機能Bにおいては自動ボタン、100%ボタンが選択可能表示である点線地となっている。

【0012】次に、ユーザが機能Bにおける倍率機能の「自動倍率」を選択し、ボタンを押下する。この選択により、表示画面は図2に示すように、選択された自動倍率ボタンが選択状態である白地に点灯し、任意倍率ボタンが選択解除され、選択可能表示である点線地となる。また、「自動倍率」を選択したことにより、機能Aにおいては組合せにより用紙トレイ選択機能の「自動TRAY」が選択不可能となる。そこで、画面表示は、選択不可能な機能が存在することを、ユーザに知らせるための警告表示となる。

【0013】この場合の警告表示を含む表示画面は図2のようになる。すなわち、機能Aにおいては「TRAY1」ボタンが現在選択されている白地表示、「TRAY2」ボタンは選択可能である点線表示、「自動」ボタンは組合せにより選択できない太枠表示となる。このユーザインターフェースパネルの画面は、この状態で「自動」ボタンを選択することができないことが画面表示から判明する。このように、画面形成装置の画面表示によりユーザは選択によるボタン押下動作をする前に、選択できない機能を事前に知ることができ、誤操作を回避す

ることができ。

【0014】次に、例示装置によるこの表示画面の各ボタンの表示を図4に示すフローチャートにより説明する。ステップ10でスタートし、ステップ11で画面形成装置の初期状態を確認する。ステップ12において、機能表示に対応する機器が故障しているかどうかの判定をする。機器が故障されていないステップ19で機能ボタンを表示させるステップ20で終了する。機器が故障されているとステップ13に進み、機器が故障しているかどうかの判定をする。故障している場合はステップ18に進み、選択できない着色表示をし、ステップ20で終了する。故障していない場合はステップ14で他の機能選択ボタンとの組合せをチェックし、ステップ15にて組合せの問題があるかどうかの判定を行う。他の機能選択ボタンとの組合せに問題がないと判定すると、ステップ16に進み選択可能表示（点線表示）をしてステップ20で終了する。ステップ15で組合せの問題があると判定すると、ステップ17に進み、組合せにより選択できないとすると表示（太枠表示）をしてステップ20で終了する。

【0015】この例示装置を制御ブロック図（図5）で説明する。機能ボタン20の入力信号を入力検知部21で検知すると、検知信号を入力した制御部22は、組合せ、故障判定部23からの指示により表示部24に表示信号を出力する。

【0016】このように、機能Bにおいて倍率の選択が「自動」となっているとき、実際に機能Aにおける「自動」TRAYを選択する前に、ユーザは、「自動」ボタンが現在組合せで選択できなくなっていることを画面表示から知ることができる。そして、組合せによる不可能な機能を選択したいときは、組合せ不可能と判断される対称となる機能の判定を取り消して、再実行することにより選択することができる。また、組合せ不可能と判断される対称となる機能が分からない場合は、メッセージ表示エリア②に表示されるメッセージにより相対となる機能を知ることができる。

【0017】この実施例においては画面表示手段として、白地、点線地、着色地、太枠表示を説明したが、表示手段として以下の表示手段がある。

(A) 色別による表示手段。

例えば、選択ボタンを青、選択できないボタンを赤、組合せによる選択できないボタンは黄色で表示させることで、ボタンの色を見るだけで判断できる。

(B) 色の濃淡による表示手段。

選択ボタンを薄いグレー、選択できないボタンを濃いグレー、組合せによる選択できないボタンは普通のグレーで表示させることにより、ボタンの濃淡を見て状態を判別できる。

(C) ボタンの形状による表示手段。

選択ボタンを凸、選択できないボタンを凹形状、組合せにより選択できないボタンはその中間のやや凸形状で表示させることで、表示されたボタン形状を見るだけで状態を判断できる。

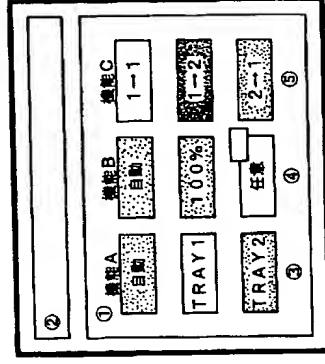
(D) ランプの点灯状態による表示手段。

選択ボタン、選択できないボタンをランプを点灯した状態（発光）で表示し、組合せによる選択できないボタンはランプを点滅させて動的に表示することで、ボタンの表示を見るだけで状態を判断できる。なお、この実施例では画像形成における装置の一例として複写装置を説明しているが、本発明は複写装置のみならず、ファクシミリやプリンタ等の画像形成をなす装置においても同様な作用、効果を奏するものである。

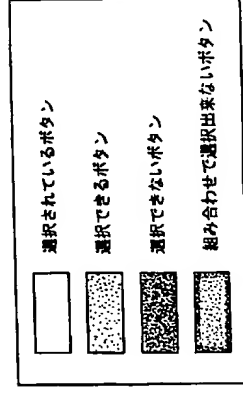
【0018】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によるユーザインターフェースパネルの画面表示装置は、あらかじめ、組合せにより選択不可能な機能に対して、選択可能な機能や、組合せ以外の理由（故障など）により選択不

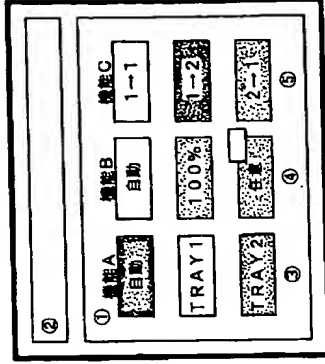
【図1】



【図3】



【図2】



(1)

可能な機能とは別の表示手段による表示を行うことにより、ユーザに事前に選択の不可能な機能を知らせることができ、この画面表示により、選択できる機能の組合せを事前に判断でき、無用な機能設定をすることなくユーザが自由に設定機能の組合せができ、操作性が改善される。

【図面の簡単な説明】

【図1】 コンソールパネルの表示画面の説明図。

【図2】 コンソールパネルの表示画面の説明図。

【図3】 コンソールパネルのボタン表示の説明図。

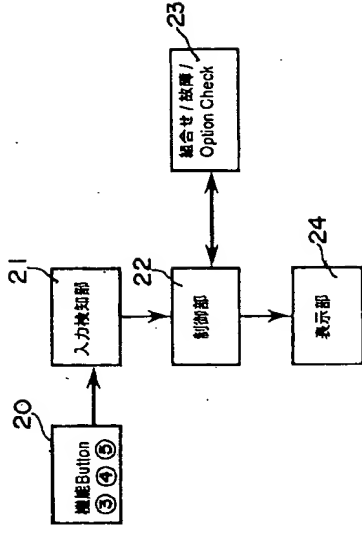
【図4】 制御装置のフローチャート。

【図5】 画面表示装置のブロック図。

【符号の説明】

① 機能選択画面、② メッセージ表示エリア、③ 機能選択ボタン、④ 機能選択部、⑤ 入力検知部、⑥ 制御部、⑦ 組合せ、故障チェック部、⑧ 表示部。

【図5】



フロントページの続き

(51) Int. Cl.⁴ H04N 1/00 106
FI H04N 1/00 106B

技術分野

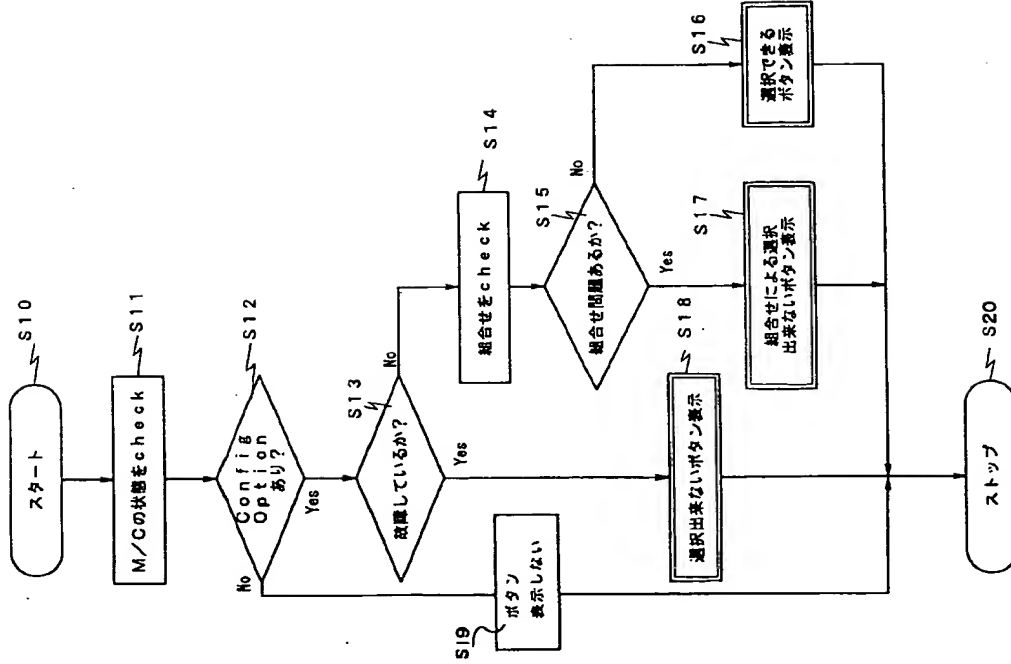
FI H04N 1/00

FI H04N 1/00

106

106B

【図4】



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☐ FADED TEXT OR DRAWING
- ☒ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☒ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.